

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：教育格差を考える ILAS Seminar :Introduction to educational inequality			担当者所属 職名・氏名	教育学研究科 教授 岡邊 健		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	総合研究2号館地階／教育学部 第5演習室 (本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	教育格差 / 社会学 / 教育社会学						
[授業の概要・目的]							
本人が変えることのできない「生まれ」（出身家庭の経済状況、保護者の職業、居住地域、ジェンダー、エスニシティなど）によって、その人の学力や学歴など、広義の教育に関する格差が生まれることが、知られています。これを「教育格差」と呼びます。本セミナーでは、教育格差を切り口に、教育と社会との関わり方、学校が教育格差に与える影響、教育格差という観点でみたときの教師や保護者のあり方、ジェンダーやエスニシティが教育格差とどのような関係にあるのか、などについて学びます。また、教育格差の観点から、非行や不登校、いじめなどの教育問題についての理解を深めてもらいます。 履修者のみなさんには、毎回の授業前に、教科書（『現場で使える教育社会学——教職のための「教育格差」入門』）の該当章を読んだうえで、疑問点や考えたことを準備してきてもらいます。授業では、教科書の内容を簡単に確認した上で、疑問点の共有や意見交換を中心に進めます。 履修にあたっての予備知識は特に不要ですが、「在学中に、社会学・教育社会学・教育学に関連する研究（卒論執筆等）をしたい」という方には、ぜひ積極的に履修してほしいと考えます。また、そのような研究分野の研究者を志望している方も、ウェルカムです。							
[到達目標]							
・教育格差に関する社会的な概念や理論について理解する。 ・教育と社会の関係について、データに基づいて論じることができる。							
[授業計画と内容]							
第01回	ガイダンス						
第02回	教科書第1章（教育は社会の中で行われている）及び第2章（教育内容・方法は社会と深く関わっている）						
第03回	教科書第3章（教育は階層社会の現実から切り離せない）及び第5章（制度が隔離する高校生活）						
第04回	教科書第4章（「平等」なはずの義務教育にも学校間格差がある）						
第05回	教科書第6章（教師は社会的存在である）						
第06回	教科書第7章（保護者・子どもの言動の背後にあるものを見据える）						
第07回	教科書第8章（教師はどのように生徒と関わってきたのか）						
第08回	教科書第9章（非行は学校教育と密接に結びついている）						
第09回	教科書第10章（進路が実質的に意味する生徒の未来）						
第10回	教科書第11章（「性別」で子どもの可能性を制限しないために）						
第11回	教科書第12章（日本の学校も多文化社会の中にある）						
第12回	教科書第13章（特別活動と部活動に忍びよる格差）						
第13回	教科書第14章（不登校・いじめは「心の問題」なのか）						
第14回	教科書第15章（「現場」のために教師が社会調査を学ぶ）						
----- ILASセミナー：教育格差を考える(2)へ続く↓↓↓							

ILASセミナー：教育格差を考える(2)

第15回 まとめとフィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

授業終了後に毎回ミニッツレポート（感想、疑問、コメントなど）を提出してもらいます。評価は、授業中の討論への積極的参加の度合い（20%）、ミニッツレポート（80%）により評価します。ミニッツレポートは、到達目標の達成度に基づき評価します。

[教科書]

中村高康・松岡亮二編『現場で使える教育社会学——教職のための「教育格差」入門』（ミネルヴァ書房、2021年）ISBN:9784623092604

[参考書等]

（参考書）

岡邊健編『犯罪・非行からの離脱（デジスタンス）』（ちとせプレス、2021年）ISBN:9784908736230

岡邊健編『犯罪・非行の社会学——常識をとらえなおす視座 [補訂版]』（有斐閣、2020年）ISBN:9784641184534

上記のほか、教科書各章の「文献紹介」欄を参考にしてください。

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の授業前に、教科書の指定された章を読んだうえで、疑問点や考えたことを準備してきてもらいます。これらを毎行なう自信のない方は、履修できません。

[その他（オフィスアワー等）]

授業中は、講師や他の履修生とのディスカッションを行いますので、積極的・能動的に参加することを期待します。